

# 日本台湾学会

## 第 20 回学術大会プログラム

2018年5月26日(土) - 27日(日)

26日(土) 於：横浜市立大学金沢八景キャンパス (〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2)

27日(日) 於：横浜国立大学常盤台キャンパス (〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1)

\*1日目と2日目で会場が異なります。

共催：(公財)日本台湾交流協会、横浜国立大学国際戦略推進機構

5月26日(土) 於：横浜市立大学金沢八景キャンパス

受付開始：09:30- (場所：本校舎1階入口)

午前の部：10:00-11:50 (場所：101-106教室)

午後の部：13:10-15:00 (場所：101-106教室)

シンポジウム：15:10-17:20 (場所：YCUスクエア4階Y404教室)

「『新たな世代』の台湾研究」

会員総会：17:30-18:00 (場所：YCUスクエア4階Y404教室)

懇親会：18:15-20:00 (場所：YCUスクエア1階ピオニーホール)

	第I部 (午前)					第II部 (午後)					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
分科会	企画	企画	企画	自由論題	自由論題	企画	企画	企画	自由論題	自由論題	自由論題
	文学	文化人類学	経済史、交通史	文学、女性史	経済	文学、ジェンダー	政治史	経済、エネルギー	人類学、外交史	社会言語学、政治学	教育史
会場	102	103	104	105	106	101	102	103	104	105	106

\*使用言語：原則として日本語。

\*\*\*\*\*《第I部 10:00-11:50》\*\*\*\*\*

◇第1分科会（文学） 1セッション企画

「現代台湾社会における『新たな郷土想像』—鄭清文作品との接点から」

◎企画責任者：明田川聡士（横浜国立大学）

◎座長：山口守（日本大学）

◎報告：

・松崎寛子（日本大学）

「鄭清文児童文学における〈郷土〉と〈政治〉—童話集『採桃記』を中心に」

・明田川聡士（横浜国立大学）

「伸展する郷土の“再”想像—鄭清文を継ぐもの—楊富閔『花甲男孩』からドラマ版『花甲男孩転大人』への翻案をめぐって」

◎コメンテーター：垂水千恵（横浜国立大学）、三木直大（広島大学）

◎朗読：池上貞子（跡見学園女子大学）

◇第2分科会（文化人類学） 1セッション企画

「政治的変動下の生活世界にみる台中（中台）関係の様相とその変遷」

◎企画責任者：上水流久彦（県立広島大学）

◎座長：宮岡真央子（福岡大学）

◎報告：

・西村一之（日本女子大学）

「台湾漁民と『大陸漁工』のつながりから見える『两岸関係』」

・藤川美代子（南山大学）

「福建南部の海に生きる民の生活世界から見る『台湾』：国防・尋根・親しき友」

◎コメンテーター：上水流久彦（県立広島大学）、下野寿子（北九州市立大学）

◇第3分科会（経済史、交通史） 1セッション企画

「日本統治初期台湾における地域交通近代化と社会・経済変容：中部地域を中心として」

◎企画責任者：松葉隼（一橋大学・院生）

◎座長：やまだあつし（名古屋市立大学）

◎報告：

・陳家豪（中央研究院）・蔡龍保（国立台北大学）

「日本統治初期台湾中部における現代交通と産業発展：米穀運輸を中心に」

・松葉隼（一橋大学・院生）

「台湾地域社会における交通の競合と協業：在来交通との関係を中心に」

◎コメンテーター：湊照宏（立教大学）、谷ヶ城秀吉（専修大学）

◇第4分科会（文学、女性史） 自由論題

◎座長：河原功（台湾協会）

◎報告：

・星名宏修（一橋大学）

「植民地台湾の「癩文学」を読む—宮崎勝雄のテクストを中心に」

・顔杏如（国立台湾大学）

「植民地台湾と婦人雑誌—『台湾婦人界』からみた植民地女性像」

◎コメンテーター：唐顥芸（同志社大学）、洪郁如（一橋大学）

◇第5分科会（経済） 自由論題

◎座長：川上桃子（アジア経済研究所）

◎報告：

・朝元照雄（九州産業大学）

「なぜ研華科技（アドバンテック）は世界最大の産業用コンピュータ企業に成長することができたのか」

・國府俊一郎（大東文化大学）

「台湾における大学新卒の不完全就業の研究－サービス業における実態調査をふまえて－」

◎コメンテーター：北波道子（関西大学）、伊藤信悟（国際経済研究所）

\*\*\*\*\* 《第II部 13:10-15:00》 \*\*\*\*\*

◇第6分科会（文学、ジェンダー） 1セッション企画

「『同志文学史』を補完せよ」

◎企画責任者：劉靈均（三重大学）

◎座長：橋本恭子（日本社会事業大学）

◎報告：

・金子賢太郎（東京大学・院生）

「同志雑誌の目指した文学：『熱愛雑誌 G&L』掲載作品の分析」

・劉靈均（三重大学）

「李琴峰の『独舞』は誰のため：中国語圏文学作品の引用とレズビアンたちの『連帯』」

◎コメンテーター：張文菁（早稲田大学）、八木はるな（高崎経済大学）

◎ショートコメント：李琴峰（作家）

◇第7分科会（政治史） 1セッション企画

「蒋介石から蔣経国への権力移行期の台湾 —『継続性』と『変化』のバランス—」

◎企画責任者：五十嵐隆幸（防衛大学校・院生）

◎座長：清水麗（東京大学）

◎報告：

・五十嵐隆幸（防衛大学校・院生）

「権力移行期における軍事戦略の転換—『攻勢戦略』から『攻守一体戦略』へ—」

・菅野敦志（名桜大学）

「文化政策にみる権力移行期の『変化』と『不変』」

◎コメンテーター：清水麗（東京大学）、大澤傑（防衛大学校）

◇第8分科会（経済、エネルギー） 1セッション企画

「再生可能エネルギーへの転換は実現可能か—脱原発政策の必須要件」

◎企画責任者：小池浩一郎（島根大学）

◎座長：小池浩一郎（島根大学）

◎報告：

・小池浩一郎（島根大学）

「再生可能エネルギーの潜在力量とその発現のための技術的、制度的な課題はなにか」

・笹田敬太郎（島根県中山間地域研究センター）

「森林バイオマスは利用可能か—日本、国民党統治期の資源政策と現代の動きから」

◎コメンテーター：寺尾忠能（アジア経済研究所）

◇第9分科会（人類学、外交史） 自由論題

◎座長：浅野豊美（早稲田大学）

◎報告：

・沼崎一郎（東北大学）

「台湾映画『海角七号』を振り返る——人類学的ポストインペリアル批評の試み（3）」

・鍾欣宏（立教大学・院生）

「台湾の法的地位をめぐるアイゼンハワー政権の台湾政策の形成」

◎コメンテーター：上水流久彦（県立広島大学）、佐橋亮（神奈川大学）

◇第10分科会（社会言語学・政治学） 自由論題

◎座長：三尾裕子（慶應義塾大学）

◎報告：

・吉田真悟（一橋大学・院生）

「現代台湾語書き言葉の多様性と規範形成——教科書・雑誌・歌詞を中心に——」

・酒井亨（公立小松大学）

「台湾ホーロー語文学の政治学（試論）：陳明仁の小説を中心とした日本・中華民国イメージ」

◎コメンテーター：林初梅（大阪大学）、中川仁（明海大学）

◇第11分科会（教育史） 自由論題

◎座長：湊照宏（立教大学）

◎報告：

・滝澤佳奈枝（お茶の水女子大学・院生）

「公学校と高等女学校における裁縫科で扱われた教材に関する一考察——『台裁』に着目して——」

◎コメンテーター：所澤潤（東京未来大学）

\*\*\*\*\* 《シンポジウム 15:10-17:20》 \*\*\*\*\*

日本台湾学会 設立20周年記念シンポジウム

「『新たな世代』の台湾研究」

（会場：YCU スクエア 4階 Y404 教室）

企画責任者： 川上桃子（アジア経済研究所）・洪郁如（一橋大学）

司会・趣旨説明 川上桃子（アジア経済研究所）

報告および討論

歴史学：菅野敦志（名桜大学）

人類学：宮岡真央子（福岡大学）

文学：赤松美和子（大妻女子大学）

政治学：家永真幸（東京女子大学）

\*日本語による報告・討論。

\*\*\*\*\*

5月27日(日) 於：横浜国立大学常盤台キャンパス教育文化ホール（横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1）

## 国際公開シンポジウム「台湾における婚姻平等化への道」

受付開始： 09：30- （場所：教育文化ホール1階ロビー）  
シンポジウム： 10：00-12：30（場所：教育文化ホール1階大集会室）

企画責任者 鈴木賢（明治大学）  
司会・コメント 鈴木賢（明治大学）

報告 尤美女（立法委員）  
沈秀華（清華大学、婦女新知基金会常務監事・前董事長）  
通訳 徐行（東京大学）

\*中国語による報告。日本語への通訳あり。